

ハイブリッド型非常用発電装置を10月に発売 ヤンマー ES とニチコンが共同開発

ヤンマーエネルギーシステム株式会社とニチコン株式会社は、1台で瞬時電圧低下から長時間停電までの電源対策として使用できる非常用エンジン発電装置「APH15C（定格容量15kVA）」を共同開発した。新製品は、ヤンマーの非常用発電装置 AP シリーズをベース機種として、ニチコン、北陸電力などが共同開発した瞬時電圧低下補償装置を一体化したハイブリッドタイプ。ヤンマーの営業ルートを通じて、10月1日から両社で販売を開始する。

従来のバックアップ用電源対策としては、雷害などによって商用電源に瞬時電圧低下や短時間停電発生時には無停電電源装置（UPS）を、自然災害による長時間停電発生時には発電機を用いて対応してきた。新製品の特徴は、電気二重層コンデンサ（EDLC）を蓄電部に採用した瞬時電圧低下補償装置とディーゼルエンジン発電装置とを一体構造とした点。これにより、停電発生時から発電装置が給電を開始するまでの10秒間を瞬時電圧低下補償装置が対応し、その後は発電装置が連続で72時間電気を供給する。復電時には発電装置から商用電源に無瞬断で切り替えを行う。別置きだった各機器をオールインワンパッケージ化したことにより、設置スペースの省スペース化を実現し、装置のメンテナンスと保守管理も一元化を図ることができた。EDLCは最長15年間交換の必要がなく廃棄物削減にも貢献できる。

問い合わせはヤンマーエネルギーシステム営業部発電システム営業部（TEL：06-6453-6272）。



ハイブリッド型非常用発電装置 APH15C

日本機工株式会社

自家発電設備設計・据付工事・パッケージ消音器・排気消音器・燃料タンク等の製作・保守点検・整備工事

本社 〒105-0012
東京都港区芝大門2-10-1（第一大門ビル）
TEL.03（3436）6521 FAX.（3436）6526
栗橋工場 〒349-1103
埼玉県北葛飾郡栗橋町東6丁目19番8号
TEL.0480（52）3311 FAX.（52）6810

平成21年度建設マスターに421名 内発協推薦では5名が受章

国土交通省では、建設産業の第一線でものづくりに直接従事されている方を対象に、優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をした建設技能者を「優秀施工者国土交通大臣顕彰者（建設マスター）」として、顕彰を実施している。第18回目となる平成21年度は新たに421名の建設マスターが誕生した。そのうち、内発協推薦による受章者は5名で、安里稔氏（(有)大田機電。機械器具設置工）、大塚邦康氏（(株)第一テクノ。同）、加島勝博氏（加島工業(株)。同）、赤池文雄氏（TDKラムダ(株)。電気工）、池田仁史氏（エヌデック(株)。同）。5月27日、東京都港区のメルパルクホールで、金子恭之国土交通副大臣などが列席して顕彰式典が開催され、受章者に記念のバッジと表彰状が贈られた。これにより建設マスター総数は合計6,472名となる。



赤池文雄氏と令夫人
（TDK ラムダ(株)）



池田仁史氏
（エヌデック(株)）



安里 稔氏
（(有)大田機電）



大塚邦康氏と令夫人
（(株)第一テクノ）



加島勝博氏
（加島工業(株)）

6月24～26日、新エネルギー世界展示会

「第4回新エネルギー世界展示会（RENEWABLE ENERGY 2009 TOKYO FAIR）」が6月24日～26日の3日間、千葉市の幕張メッセ4～6ホール及び国際会議場で開催される。テーマは「地球環境保全に貢献するエネルギーが創る——新たな社会、新たな産業」。会場では、企業・団体が燃料電池、太陽光発電、風力発電に関する実機を展示する。国際会議場では、経済産業省幹部による「もっと環境にやさしい日本へ—その賢い選択」などの基調講演、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構などが最先端技術について発表する合計15のフォーラムを開催する。入場無料。

問い合わせは事務局、(株)シー・エヌ・ティ（TEL：03-5297-8855。info@renewableenergy.jp）

協会カレンダー

・委員会等開催情報（6月15日～7月14日）
6月25日（木）：第53回自家発電設備認証委員会
（内発協）